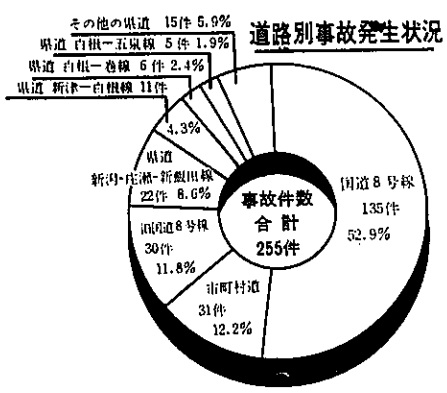
交通事故白書 42年度

事故の大半 未熟者と25歳以下

無謀運転はやめよう

市総務課は、白根警察署管内（白根市、味方村、月潟村）で42年中に発生した交通事故を件数、原因別などに分けて「交通事故のすがた」という冊子にまとめ発行しました。それによると、事故件数は255件、負傷者は271人で、それぞれ昨年より、68件、102人ふえています。

〝交通事故は人災だ〟とよくいわれひとりひとりが交通マナーを守り事故をなくしようと「住民総ぐるみ」の安全運動が全国に展開されています。それにもかかわらず事故はふえる一方で、白根署管内でも件数、負傷者ともに前年よりふえています。そんな中でただ一つ喜ぶべきことがあります。それは、死者の数が四十年には十五人だったのが、四十一年には九人に、さらに四十二年には七人にと減ってきたことです。これから「交通事故のすがた」をもとにして説明してゆきます。



道路別の件数

35㌫が国道で発生

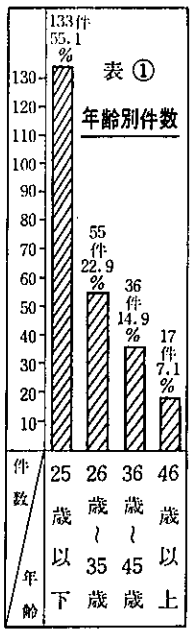
昨年中に発生した事故二百五十五件を道路別に分類すると、左上の円グラフのようになり、国道八号線での事故が百三十五件と圧到的に多く全体の五二・九㌫を占めています。「舗装された、見通しのよい国道でなぜ事故が多いのか」を、原因から探ってみましょう。一番多いのは前方不注意で、ついで徐行違反③追い越し不適当④車間距離不適当⑤速度違反、酒酔い運転となっています。これらの原因を考え合わせると、見通しがよく舗装されているというのが、心の〝スキ〟となるようです。

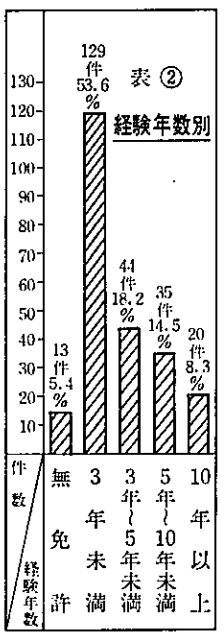
三年未満が半数以上

こんどは、事故の原因が運転手にあったために発生した二百四十一件を、年齢別と経験年数別に分析してみましょう。まず表①の年齢別の事故件数をごらんください。二十五歳以下が百三十三件で全体の五五・一㌫を占めており、いかに若い人の事故が多いかを裏付けています。

つぎに表②の経験年数別の件数をごらんください。三年未満が百二十九件で、全体の五三・六㌫を占めています。三年未満に五年未満をプラスすると百七十三件となり、全体の七〇㌫以上を占めることになります。

無謀運転はつつしみ、車が〝走る凶器〟にならないよう二十五歳以下、免許取得後五年未満の方は特に注意してください。





アッ！危ない

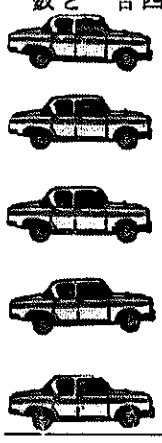
わき見運転に注意

久留米大学医学部生理学教室は運転手が「歩行者だ」と認めることができる距離などの実験結果を発表しましたので、その調査結果とブレーキを踏んでから止まるまでの距離、秒速などを紹介します。

この調査は、晴れた日の夜、対向車のないときに行なったものです。その結果、前方に何かがあると気づいた地点は、白服で八十三㍍、クリーム色の服で七十七㍍、黒服で四十三㍍それぞれ手前でした。これが歩行者だと確かめられた地点は、白服で四十三㍍、黒服で十九㍍で、横断中だと確かめられた地点は肉服で十九㍍、黒服ではなんと十㍍手前でした。

ブレーキを踏んでから車が止まるまでの距離

歩行者が横断している者が横断中だ」と確められたのは白服で十九㍍、黒服で十㍍手前でした。たとえば時速三十キロ㍍以上の場合は、黒服なら完全に衝突し、白服でももちょっと発見が遅れると追突や衝突します。ワキ見運転は絶対にやめましょう。



秒速

60キロの場合は18㍍

こんどは秒速を調べてみました。時速六十キロの場合は十八㍍、五十キロの場合は十四㍍、四十キロの場合は十一㍍走ります。ですから〝アッ〟と思った瞬間には十数㍍も走っています。

と認められた距離はわかりましたので、こんどはブレーキを踏んでから車が止まるまでの距離を紹介します。車はブレーキを踏んでもすぐ止まりません。下図のとおり時速六十キロでは三十六㍍、五十キロなら二十五㍍、四十キロなら十六㍍先でなければ止まりません。

前に説明したとおり「歩行者が横断中だ」と確められたのは白服で十九㍍、黒服で十㍍手前でした。たとえば時速三十キロ㍍以上の場合は、黒服なら完全に衝突し、白服でももちょっと発見が遅れると追突や衝突します。ワキ見運転は絶対にやめましょう。

〝一級建築士を目ざして〟

白根地区職業訓練所 六十六人が受講

四月十三日に開所した「白根地区共同職業訓練所」は、十五日に第一回の授業を行ない本格的にスタートしました。

この日は、授業にはいる前に先生や受講生の自己紹介からはじまり、その中で「一級建築士を目ざしてガンバリますからよろしく」と力強く抱負をかたっていました。

この訓練所は、同訓練所協議会が昨年から準備をすすめていたもので、同協議会には当市と味方村の建築、左官、板金、建て具業者が加入しています。現在は同業者の雇用している六十六人の見習い技能者が入所しており、学習内容は、毎週月、水、木の夜間三回三時間ずつ、普通学科と専門学科を行ないます。

専門学科の先生には業者の一級建築士など七人が、普通学科には高校と中学校の先生四人がそれぞれ担当し、実地は各事業所でしごとをしながらおぼえることにしています。

ルール守り身を守ろう

11日から20日まで 春の全国交通安全運動

五月十一日から二十日までの十日間「春の全国交通安全運動」が行なわれます。このたびの運動は人命尊重を第一の柱として、交通事故防止の徹底をはかることにしています。とくに、歩行者の事故と死亡事故をなくするため、歩行者、運転者、雇用主などすべての道路交通に関係のある人に、正しい交通ルールの実践を呼びかけることにしています。

わたくしたちひとりひとりが、交通ルールを守り、そして自分の身を守りましょう。

同運動の重点目標はつぎのとおりです。

1.歩行者の正しい横断と横断歩道における保護の徹底
2.飲酒運転の追放
3.車輌の完全整備の励行

スポーツへのおさそい

四月一日から、つぎのような日程で各スポーツの練習を行ないます。これは県の「スポーツ施設のない市町村は学校を開放するように」という方針にもとづいて昨年から行なわれてきたものです。

各部では〝初心者大歓迎〟とみなさんのおいでをお待ちしています。

▽剣道＝白根小体育館で、毎週月、水、土の三回、夜六時三十分から八時三十分まで
▽バドミントン＝毎週火曜日、白根中体育館で夜七時から九時まで
▽バスケットボール＝毎週木曜日、白根中体育館で夜七時から九時まで
▽卓球＝毎週金曜日白根中体育館で夜七時から九時まで
▽バレーボール＝毎週土曜日、白根中体育館で夜七時から九時まで
▽野球＝毎週水、土の二回市営グランドで夜五時から六時三十分まで

白寿会 湯飲み 灰ざら を寄付

白根地区の老人クラブ白寿会（藤崎清吉会長）は、産業厚生会館用にと湯飲み茶わんと灰ざらをたくさん寄付されました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

新井―新潟間 郡市対抗駅伝

大会新で2年連続優勝

4月20日、21日の2日間行なわれた「第2回県縦断郡市対抗駅伝」で、当市チームは11時間13分20秒の大会新記録で優勝し、昨年につづき2連勝を飾りました。

この駅伝は、1日目は新井―長岡間（94.3㎞）を、2日目は長岡―新潟間（108㎞）を走るもので、県内の駅伝としては大きなものです。

この大会に活躍した選手はつぎのとおりです。

杉本孔明、長井征治、丸山昌吾、加藤光男、笠原忠夫、丸山均、安藤昭雄、倉部哲治、富田誓一、須田守男、金子繁、瀬賀潔、井上実、渡辺直、沢田政江、古沢猛（日報前にゴールインしたアンカーの須田選手）

お知らせ

小企業振興資金 申し込み期限は5月20日

小企業振興資金（店舗改装資金と設備資金）の融資は、いままで年一回でしたが、ことしから五月と九月の年二回行なうことになりました。希望者やくわしく知りたいかたは期限までに連絡してください

1.融資対象者　市内に住んでいるか事業所を持っているかする商工業、サービス業、運送業のかたで従業員が二十人以下のかた
2.貸し付け限度額　五十万円以内で、六カ月据え置き三十回の月賦返済
3.利率　年九分ですが、そのうち三分は市で補助します
4.申し込み期限　五月二十日まで

危険物取り扱い主任者試験 願書受け付けは31日まで

つぎのような方法で「危険物取り扱い主任者の試験」が行なわれます。希望者やくわしく知りたいかたは、市消防署（72二〇四〇）へ連絡してください。

1.試験日　六月十六日
2.試験地　新潟市、新津市
3.試験の種類　甲種と乙種の二種類あり、甲、乙種ともそれぞれ第一類から第六類まであります
4.受験願書受け付け期間　五月一日から三十一日まで

郵便貯金の婦人モニターを募集

郵政省では、つぎのような方法で「郵便貯金の婦人モニター」を募集しています。希望者は期限までに申し込みください。

1.募集人員　二千人
2.しごとの内容　郵政省からのアンケートに答えるほか随時、批判、意見、要望などを寄せてもらう
3.応募資格　二十歳以上の婦人で郵便貯金の利用者

5月20日 無料交通事故相談所

こん月から、毎月第三月曜日が交通事故相談日になりました。さしあたりこん月は、つぎのような方法で「無料の交通事故相談所」を開設します。相談された内容が他にもれることは絶対ありませんので気軽にお出かけください

1.相談される内容　交通事故に関するすべての問題
2.日時　五月二十日午前十時から午後三時まで
3.場所　産業厚生会館四階
4.相談を受ける人　県の相談所につとめる専門の係り官

技能検定と競技大会 申し込みは24日まで

つぎのような方法で「技能検定と競技大会」が行なわれます。希望者やくわしく知りたいかたは市商工課へ問い合わせてください。

1.実施される職種　機械工仕上げ工、板金工、電気メッキ工、織り機調整工、左官、タイル張り工、ブロック建築工、とび工、建築大工、木型工、機械製図工、印刷工、金属、木工、塗装工
2.実施期日　技能検定（学科）九月八日から十五日まで競技大会（実技）六月十六日から九月一日まで
3.受け付け期間　五月十三日から二十四日まで
4.申し込み方法　申請書は県庁職業訓練課と県産業人能力開発協会（新潟市川岸町一丁目マルエビル三階）にあります。郵送希望のかたは返信用切手同封の上請求のこと

19日に学童写生大会 入賞作品はニュージランドへ

市公民館白根分館は、つぎのような方法で「学童写生大会」を行ないます。たくさんのかたが参加されることを係ではお待ちしています。

なお入賞した作品は、国際親善のいっかんとしてニュージランド国へ贈られます。

1.日時　五月十九日（日）午前九時から十二時まで（雨天の場合は二十六日に延期）
2.写生の場所　理研電線白根工場の付近
3.参加賞　全員にあげます